

台風18号の接近に伴う農作物等の管理対策の徹底について

平成26年10月3日
福井県農業総合指導推進会議

《台風通過前の対応》

1 共通事項

＜用排水等の見回り注意＞

- ・豪雨・強風の中、圃場の見回りなどを行うと、河川や農業用水路への転落、ハウス損壊の危険があるので、大雨や強風が収まるまで見回りなどを控える。また、大雨が収まった後でも、増水した水路等の危険な場所には近づかない。

＜園芸施設等＞

- ・被覆フィルムの取付金具やハウスバンドを固定し、風が強くなったら天窓や入口を閉める。
- ・直管パイプ基礎部の埋め込みが浅くなっているものは、土を入れてしめ固めておく。
- ・施設内に停滞水が生じないように、排水溝を点検・整備する。

＜ほ場の排水対策＞

- ・大豆、ソバ、園芸作物および播種後の大麦は、暗渠を開放するとともに、ほ場の周囲や排水溝を点検し、必要に応じて溝を掘り直す。特に、これまで冠水や浸水したことのあるほ場については、重点的に排水対策を実施する。

2 大麦

- ・播種前のほ場は、降雨前に額縁排水溝、弾丸暗渠、排水溝の設置を行っておく。
- ・播種後で、除草剤散布がまだのところは、薬害防止や除草効果の低下を防ぐため、降雨後に散布を延期する。

3 野菜

- ・ネギについては、土寄せ等をおこない、株のゆれを軽減する。
- ・ラッキョウ等の定植を予定しているほ場では、台風が通過するまで見合わせる。
- ・砂丘地では、防風ネットの設置や修繕を行い、砂の飛散等を防止する。なお、雨を伴わない強風が予想される場合は、あらかじめ十分に灌水し、砂の飛散を防ぐ。

4 果 樹

- ・カキやナシで成熟期を迎えている果実は、台風接近前に収穫する。
- ・果実のキズや落果を防ぐため、支柱などの補強を設置して、樹体の揺れを防止する。
- ・ナシなどの棚栽培では、あおり止め等の点検を行い、棚面の動揺を防ぐ。
- ・幼木やウメなどの根の浅い樹種では、倒木防止のため支柱等で固定する。
- ・防風ネットの強度以上の強風が予想される場合は、風が強まるまでにネットをはずす。
- ・ブドウなどの施設管理は「1 共通事項」の〈園芸施設等〉に従い、対策を行う。

5 花 き

- ・キクなどの露地ほ場では、畝の両端の親支柱や中間支柱をしっかりと立て直し、必要に応じて補強する。
- ・畝の横風に対しては、隣り合わせの畝の中間支柱をハウスバンドなどで連結して固定する。
- ・フラワーネットは、頂点から3分の1程度下がったところで支持する。さらに畝を囲むようにハウスバンドをネットの下に張り、倒伏を防ぐ。

6 畜 産

- ・畜舎や堆肥舎等の施設は、窓、シャッターの戸締りを厳重にする。また、カウハッチ等の簡易な施設は、支柱やビニール押えのバンドを増やすなど、補強を強化する。
- ・放牧地で、牧柵等の破損、土砂崩れ等で危険と判断した場合は、速やかに牛を引き上げる。

〈台風通過後の対応〉

1 共通事項

- ・事故防止の観点から、台風通過後におけるほ場の見回り等については、気象情報を十分に確認し、大雨や強風がおさまってから行う。また、降雨により、ほ場の畦畔や法面が崩壊しやすいので、厳重に注意する。
- ・ほ場や施設が冠水や停滞水のある場合は、排水ポンプや溝切り等により、速やかに排水する。
- ・施設では、サイドビニールや屋根ビニールの巻き上げにより換気を十分に行う等、適切な温湿度管理に努める。
- ・マルチをしている畝が冠水した場合は、マルチ内の土壌水分が過多となりやすいので、マルチを除去したり、畝肩の部分までめくりあげたりして、畝の土壌水分を適正にする。

2 大 麦

- ・ 耕起や播種作業については、降雨直後の土壌水分が多い状態で行わないこと。

3 大 豆

- ・ 風雨により損傷を受けた場合、腐敗粒やしわ粒等が発生しやすいので、成熟期を的確に把握し、適期刈りに努める。

4 野 菜

- ・ 台風通過後の急激な気温上昇に注意し、施設では換気を十分に行う等、適切な温湿度管理に努める。
- ・ 病害の発生が懸念されるので、被害株や被害葉を除去し防除を徹底する。
- ・ 茎葉汚損等により草勢低下が懸念される場合、回復のため液肥を葉面散布する。
- ・ 土壌表面が固着した場合は、軽く畝間を中耕し、土壌中に酸素を供給する。根元が露出している場合は軽く土寄せを行う。

5 果 樹

- ・ 倒木で根が露出した場合は、樹体を立て直すとともに土をかけて軽く踏圧し、かん水するとともに支柱等でしっかりと固定する。
- ・ カキ等収穫前の果実にキズがついたものは、摘果する。
- ・ 圃場が浸水または冠水した場合は、「1 共通事項」に従い、対策を行う。

6 花 き

- ・ 茎葉に傷が生じると病害が発生しやすくなるため、予防剤を中心に、病害防除を行う。
- ・ 強風により傾いた花茎は、そのままにしておくもとに戻らなくなるため、速やかに起こす。

7 畜 産

- ・ 畜舎等の施設に浸水した場合は、すぐに排水し、疾病発生予防のため洗浄と消毒を実施し、畜舎等の乾燥に努める。